

## 研究課題名 消化管膀胱瘻を伴ったクローン病に対する手術例の検討 に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2003年1月1日～2020年12月31日までに当科でクローン病に対して手術を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

クローン病（以下CD）は小腸・大腸を中心とした消化管全域に難治性の狭窄や瘻孔を生じる原因不明の慢性肉芽腫性炎症性疾患であります。CDにおいて消化管内瘻を含む瘻孔の発生頻度は、15～32%とされていますが、消化管膀胱瘻の発生頻度は、2～5%と比較的稀です。消化管膀胱瘻を伴ったCDに対して手術が施行された患者を対象に、臨床学的背景、術式、術後合併症を含めた長期経過について後方視的に検討します。研究期間は、実施承認日～2025年12月31日です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、病理所見、手術記録等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65 052-744-2250

消化器外科二 助教 服部 憲史

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻病態外科学 講師 中山 吾郎